SONY

ステレオイヤーセット

取扱説明書

4-418-201-01(2)

Printed in Thailand

XBA-2VP

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

禁止

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

⚠警告

禁止

交通安全のために

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中に、イヤーレシーバーは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。

運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

⚠注意

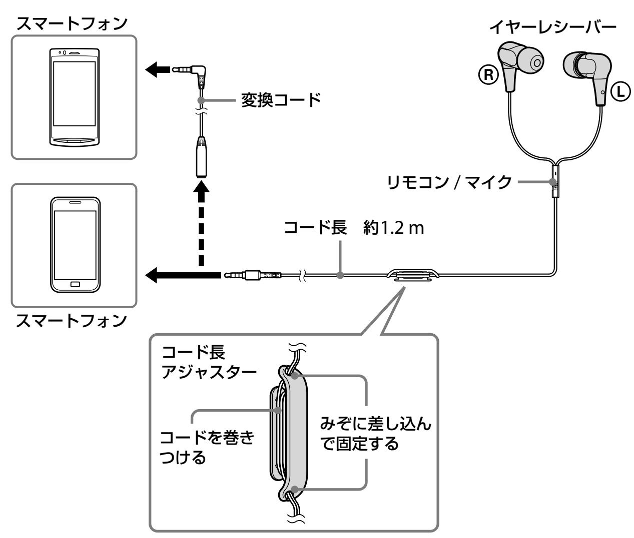
禁止

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- このイヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、イヤーレシーバーで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- イヤーレシーバーが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。
- イヤーピースはしっかり取り付けてください。イヤーピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。
- スマートフォンとつないだイヤーレシーバーをかばんなどに一緒に入れる場合は、誤ってリモコンボタンを押してしまわないようご注意ください。

主な特長

- **音楽・動画再生時など、手元で簡単にボリューム操作ができるスマートフォン用ヘッドホン**
- **ハンズフリーで通話が可能なマイクロホン付**
- **新開発デュアル・バランスド・アーマチュア・ドライバーユニット**
  新開発小型ドライバーを2基(フルレンジ+ウーファー)搭載。クリアで伸びのあるボーカルと、迫力の重低音を実現。
- **快適な装着性**
  バランスド・アーマチュア・ドライバーユニットの採用により、ボディサイズを小型化。さまざまな形状の耳にフィットし、快適で安定した装着性を実現。
- **新開発ダブルレイヤードハウジング**
  インナーハウジングにはマグネシウム合金を、アウターハウジングには制振ABS材を採用。高剛性と高内部損失の筐体材料を複合させることで、音の立ち上がりを改善し、余計な振動を抑制したクリアな中高音を実現。
- **ノイズブロック構造**
  高い遮音性を持たせた筐体構造により、音漏れを低減し、周囲の騒音も抑制。

接続のしかた



コード長アジャスター(付属)の使いかた

図のようにコードを巻きつけて長さを調節できます。
(巻きつける長さは50 cmまでを目安に調節してください。それ以上巻きつけるとコードがはずれやすくなります。)

ご注意
プラグを巻きつけないようにしてください。負担がかかりやすく断線につながる恐れがあります。

変換コード(付属)について

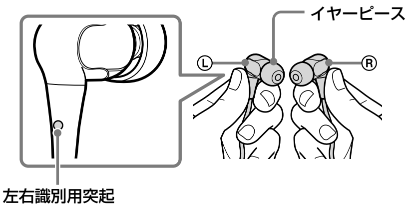
Xperia™*などの一部のスマートフォンに本機を接続すると、マイクが使用できなかったり、充分な音量が得られないことがあります。その場合は付属の変換コードを使って接続してください。

ご注意
本機はデジタルミュージックプレーヤーでの動作は保証していません。

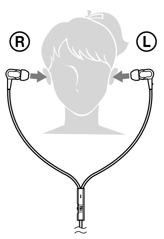
* "Xperia"は、Sony Ericsson Mobile Communications ABの商標または登録商標です。

イヤーレシーバーの正しい装着方法

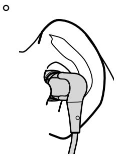
1 左右を確認し、図のように持つ。
Ⓛの印の方には左右識別用の突起があります。



2 図のように、本体が耳におさまるようにしっかりと装着する。
Ⓡの印のついた方を右耳に、Ⓛの印のついた方を左耳に付けてください。

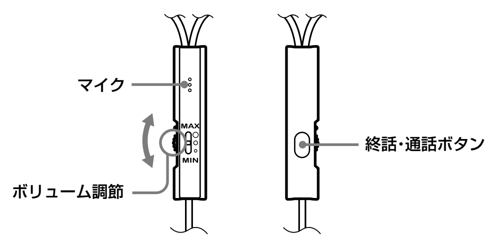


3 イヤーレシーバーが耳にきちんと装着されるように調節する。



リモコン/マイクの使いかた

つないだスマートフォンのハンズフリー通話や音量を調節できます。



各部のなまえと働き

- **ボリューム調節***
  上に回すと音量が上がります。下に回すと音量が下がります。
  * ボリューム調節のMAX近くに凸点が付いています。操作の目印としてお使いください。
- **終話・通話ボタン****
  押すと通話できます。通話を終了するにはもう一度押してください。
  ** お使いのスマートフォンの種類によって動作が異なることがあります。

イヤーピースの正しい装着方法

イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤーピースのサイズや種類を交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。
お買い上げ時には、ハイブリッドイヤーピースのMサイズが装着されています。サイズや種類が耳に合わないと感じたときは、付属のイヤーピースの中から、最適なものを選んで交換してください。
イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、イヤーレシーバーにしっかり取り付けてください。

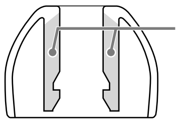
ハイブリッドイヤーピースについて

イヤーピースのサイズ（内側の色）

小さい ◀▶ 大きい

SS	S	M	L
（赤）	（橙）	（緑）	（水色）

断面図



ノイズアイソレーションイヤーピースについて

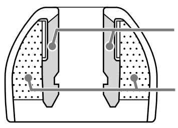
本機にはハイブリッドイヤーピースに加えて、より耳にフィットし、遮音性を向上させる目的で、ノイズアイソレーションイヤーピースを付属しています。S、M、Lの3サイズの中から適したサイズをお選びください。

イヤーピースのサイズ（内側の色）

小さい ◀▶ 大きい

S	M	L
（橙）	（緑）	（水色）

断面図

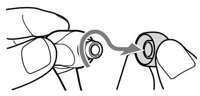


ご注意

- ノイズアイソレーションイヤーピースは、しっかりと耳にフィットすることにより効果を発揮しますが、長時間の使用により、耳への負担が大きくなる恐れがあります。痛みや違和感のある場合には、使用を中止してください。
- 低反撥ウレタン素材は非常に柔らかいため、ウレタンだけを持ったり引っ張ったりしないでください。ウレタンが破れたり、イヤーピースから分離したりすると、元に戻らず、ノイズアイソレーションイヤーピースとして機能しなくなります。
- 低反撥ウレタン素材は、長期の使用・保存により劣化します。反撥力が失われて硬くなってくると、ノイズアイソレーションイヤーピースとして機能しなくなる恐れがあります。
- ノイズアイソレーションイヤーピースは洗わないでください。また、汗などは充分に乾燥させて、低反撥ウレタン内部に水分が残らないようにしてください。早期劣化の原因となる恐れがあります。

イヤーピースをはずすときは

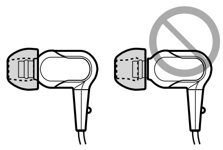
イヤーレシーバーを片手で押さえ、もう一方の手でイヤーピースを軸ごとねじりながらはずします。



ヒント
イヤーピースが滑りやすくはずしにくいときは、乾いた柔らかい布でくるむとはずしやすくなります。

イヤーピースをつけるときは

イヤーレシーバーの突起部分が完全に隠れるまで、イヤーピースの着色部分を押し込んでください。



イヤーレシーバーを耳からはずすときは

使用後は、ゆっくりと耳から取りはずしてください。

ご注意
本機は密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳からはずした場合、鼓膜などを痛める危険があります。
また、装着しているときに振動板から音が生じる場合がありますが故障ではありません。

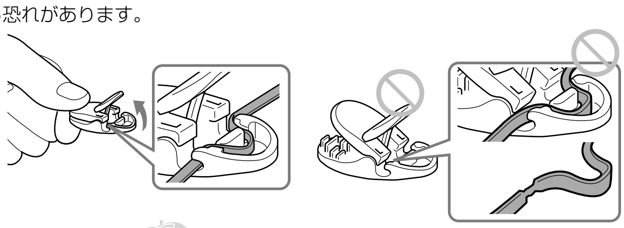
クリップの使いかた

1 クリップが開かないように持ちながらレバーを軽く上げる。

2 レバー下部のみぞにコードを入れる。

ご注意

- レバーが上がりきった状態と下がっている状態では、みぞにコードを入れることができません。
- コードを突起部に引っかけたり、みぞへ無理に押し込んだりしないでください。断線するおそれがあります。
- コードを取り付けた状態のまま、クリップの位置を変更しないでください。断線する恐れがあります。





取り扱い上のご注意

- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部はていねいに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、内部に息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。
- イヤーピース（ノイズアイソレーションを除く）のお手入れは、イヤーレシーバーからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。
- イヤーピースは長期の使用･保存により劣化する恐れがあります。
- イヤーピースは、誤飲や窒息などの危険がありますので、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、イヤーレシーバーの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより軽減されます。

主な仕様

ヘッドホン部

形式：	密閉デュアル･バランスド･アーマチュア型
ドライバーユニット：	デュアル･バランスド･アーマチュア
最大入力：	100 mW（IEC*）
インピーダンス：	8 Ω（1 kHzにて）
音圧感度：	108 dB（150 mV入力時）
再生周波数帯域：	4 Hz ～ 25,000 Hz
コード：	1.2 m（Y型）
プラグ：	4極金メッキステレオミニプラグ
質量：	約6 g（コード含まず）

マイク部

方式：	インラインマイクロホン
型式：	エレクトレットコンデンサー型
開回路電圧レベル：	–38 dB（0 dB＝1 V/Pa）
有効周波数帯域：	20 Hz ～ 20,000 Hz

付属品
ハイブリッドイヤーピース（SS、S、M、L各2、出荷時はMサイズが装着）/ ノイズアイソレーションイヤーピース（S、M、L各2）/ キャリングケース（1）/ コード長アジャスター（1）/ クリップ（1）/ 変換コード（1）/ 保証書（1）/ 取扱説明書（1）

* IEC（国際電気標準会議）規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損し交換する場合は、別売りのEP-EX10シリーズ（SS、S、M、Lの各サイズ）、または、ノイズアイソレーションEP-EXN50シリーズ（S、M、Lの各サイズ）をお買い求めください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

製品登録のおすすめ
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

パソコンから
http://www.sony.co.jp/avp-regi/

携帯電話から
2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。
http://reg.msc.m.sony.jp/avp/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル････････････････0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話･･ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル････････････････0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話･･ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1